2025 秋 autumn
パルレ新聞
Renewal parler news vol. 113
NPO法人パルレ
パルレ 新聞編集室
2025.12.22 発行
E-mail: office@npo-parler.com　パルレHP: http ://npo-parler.com/

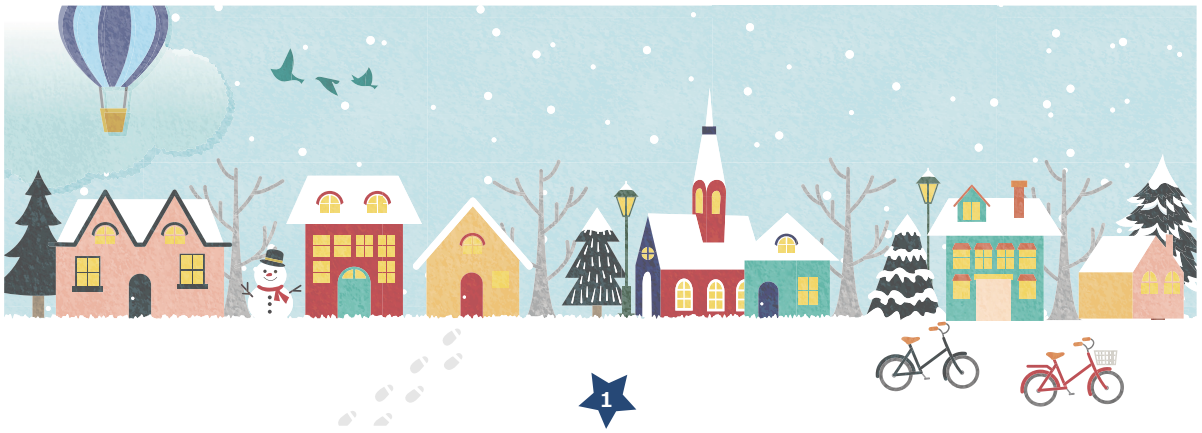
「ら・るーと」事業について 大切なお知らせ

品川区発達障害・思春期サポート事業「ら・るーと」は、NPO法人パルレが品川区の委託を受け運営してまいりましたが、誠に残念ながら、このたび諸般の事情により、来る2026年3月末にて受託を終了させていただくことになりました。
これに伴い、本事業は終了し、既存の他事業に統合されることが決定されました。
4月以降のご相談や本人活動は、「品川区発達障害支援施設ぷらーす」に、研修会やペアレント・トレーニング等は、「品川児童学園」および「大原児童発達支援センター」に引き継がれる予定です。
なお、当法人心理士との相談継続を希望される場合は、有料とはなりますが、パルレ大井町事業所にて承ります。
「相談支援事業所パルレ」も変わりなくご利用いただけます。
「ぷらーす」への引継ぎを希望される方、また当法人にて相談継続を希望される方はどうぞお知らせください。
その他、今後についてのご不安などありましたらどうぞご相談ください。
皆様のこれからの生活が少しでも安心して過ごせるものとなりますよう、職員一同、最後まで心を込めて努めてまいります。

受託終了までに十分な期間を設けたいと考えておりましたがかなわず、皆さまにはこのように突然のお知らせとなりましたことをお詫び申し上げますとともに、17年の長きにわたり、「ら・るーと」に賜りました、暖かいご支援・ご厚情に、厚く御礼申し上げます。

引き続き、NPO法人パルレに変わらぬご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

NPO法人パルレ
代表理事　熊谷恵美



パルレ活動報告

2025年度パルレ学習会　7月27日　オンライン
自閉スペクトラム症　診断告知　それまでとそのあとに：だれが、なにを、どのように？
講師：吉田 友子氏（千代田クリニック院長・iPEC所長）

アンケートより

自閉スペクトラムの子どもや青年が、自分の特性を肯定的にとらえ、人生を主体的に生きる技術を身につけるために、特性説明・診断告知は重要な支援です。今回吉田友子先生に、だれが・なにを・どのように本人と整理していくのか、また説明までの準備とその後の支援についてお話しいただきました。先生の優しい語り口に感動の声が多数寄せられました。

■家族の方の感想

●息子が定期的に受診している中で、何故受診の必要があるのかと聞かれた時の返答でうまく答えられずもやもやしていました。今回の先生のお話を聞いて、時間をかけて息子の特性について一緒に話し合いながら自己理解に繋げ、障害について一緒に学んでいければと思いました。

●毎回吉田先生の講演会は、とても感動します。よく『障害は個性だ』と耳にして来ましたが、どこかしっくりせずにいました。困り感があるのに、個性で済まされるのは、個人によっては辛い立場に追い込まれてしまう様に感じていました。脳のタイプと言うご説明はなるほどと思いました。

●当事者やその家族の人間としての尊厳を大事に生きる勇気を頂いたと感じております。
多数派の感じ方やり方を知り使えるようにすることと自分本来のスタイルを使い分けることをバイリンガルに例えていた事は、目から鱗が落ちる思いです。そのように捉えると誇りを持てます。

●いつも吉田先生の当事者とその家族に対する深い愛情と敬意を感じながら拝聴しております。今回もまた、たくさんの示唆と知識をいただいた講演でした。私自身、本人の自己理解をどのように進めたらいいか、そのヒントがいただけないかと思いながら聞いておりました。知的な困難さは大きな壁ではありますが、支援する立場の考え方や姿勢は軽重に関係なく共通すると感じています。「かけがえのない自分」の肯定を支援する…具体的な方法が明確にわかっているわけではありませんが、肝に銘じたいと思いました。

●当事者である子どもが、動画サイト等で発達障害に関する不確実・時には差別的な情報に触れているのを見て、本人がどのように考えているのか、また、親として告知をどのように考えたらいいのかと迷っているときに、この講演を知りました。手助けとキーワード提供のこと、診断告知の効果・副作用など、とても参考になるお話がたくさん聞けて、今後の指針となりました。

■支援者の方の感想

●多数派の感じ方・やり方を伝えないと、と思って、ご本人たちに話をしていることが多くなかったかと自分自身の支援を振り返る機会となった。時には多数派に合わせ、時には自分らしい本来のスタイルでどちらも胸を張って実行してほしいという先生の言葉がとても印象に残った。

●就学前の子どもと保護者さんの支援をして25年になります。仕事を始めた頃から、吉田先生のセミナーに出かけてお話を聞きご著書を読み、何枚の鱗を目から落としてきたことでしょう。昨今、発達障害はないと言い放つ政治集団が台頭する中、吉田先生の今日のセミナーで心を強くした思いです。

●心理士として発達支援を続けて30年以上になります。ずっと吉田先生の著書や講演などで勉強し、その知識を基に子ども達と向き合ってきました。最近では大人になった子ども達が、自分の人生を選び取って自分らしく生活している姿を見たり聞いたりすることが増えました。この仕事をしていて、一番嬉しいことです。（後略）

●以前受講した研修は、幼児児童のお話がメインでしたが、今回は学生のお話を聞くことができ、大変勉強になりました。今回も子どもたちや支援者に関わる自分の姿勢を振り返る時間になりました。子どもたちが少しずつ自己理解を深めていくエピソードを聞いて、自分の中で葛藤しながらも少しずつ水が滲み込んでいくように自分を受け入れていく様が想像でき、涙が溢れてきました。

●発達臨床で迷ったときは先生の著書を繰り返し読ませていただいています。本日のご講演で、診断告知や特性理解、そして自己理解、自己権利擁護スキルを育てていくということの大切さと難しさを感じました。今までは臨床心理士という立場上、知能検査のフィードバックという形で保護者や本人と関わって単発で終わってしまうことが多かったのですが、かかわりを継続していくということがとても大切で、自分が担えない場合は、他の専門機関、医療機関につないで継続的に自己理解支援を行ってもらう必要があると感じました。昨今、カモフラージュ、過剰適応の問題が取り上げられることが多くなっていますが、支援者として「あなたらしく生きてよい」と言いながら、多数派よりのソーシャルスキルを無自覚に教えてきました。多数派に自分なりのやり方で合わせていく、少数派として合理的配慮を求めて自分らしいやり方に調整してもらう、など本人が自分で決める権利を尊重し、成功はともに喜び、失敗したならまたよりよい方法を共に模索していく。そんな支援者になりたいと思いました。

●当事者の方の自己権利擁護の力を育み、継続して力を発揮していただくために支援することが大切であると思った。また、生活に根付いた具体的な提案と振り返りの積み重ねであると思った。「ニセモノの自分」という言葉にドキッとしたが、本当の自分を受け入れてくださる関係性だったからこその発言だったと思った。信頼関係の大切さを感じた。

●大学でコーディネーターをしています。18歳以降に初めて診断を受けた学生さんに障害について説明をする場面もあるためとても勉強になりました。大学生になり合理的配慮において、本人の意向が必要な場合、なかなか自分が何に困っているか伝えられない新入生も多いです。先生から、まず支援をスタートして合理的配慮申請して助かったと実感していただくことも大事だとお聞きし、それも取り入れてみようと思いました。自閉症と一括りにするのでなく、個別具体的な支援が必要であることを改めて実感しました。

ら・るーと活動報告

2025年度第2回啓発講演会　8月23日　オンライン
発達障害のある子への包括的性教育ーからだのこと、心のこと、人との関りのことー
講師：門下 祐子氏（京都教育大学 総合教育臨床センター講師）

アンケートより

「性」は、身体、人権、コミュニケーション等、生活の基本にあります。しかし誰が、いつ、どうやって伝える？ と戸惑う方も多いと思います。そこで今回は、障害のある子のセクシュアリティを専門に研究・実践されている門下祐子先生をお迎えし、包括的性教育についてお話を伺いました。「性は人権の問題」という講義に、多くの反響をいただきました。

■家族の方の感想

●重複障害のお子さんのオムツ替えの場面で先生がいつも手を温めて、声がけなさってると言うお話に、涙ぐんでしまいました。お話全体の要と思うのですが、どれだけ相手の人間性を尊重しているのかと言うことを改めて自戒しました。

●性教育の講義を聞くことにもなんとなく戸惑いや恥じらいを感じていましたが、門下先生の優しい語り口調で自然に伺うことができました。「包括的性教育」という言葉をちょくちょく耳にするようになり、なんとなくの知識はありましたが、実際の学校現場での実例を紹介してくださり、子どもに教えていくという方法の具体的なイメージが持てました。
とはいえ家庭で性教育するというのはやはりハードルが高く、学校でやってもらえたら…というのが本音です。在籍する支援学校でどのような性教育がされているのか、まずは聞いてみようと思いました。また、家庭でも子どもの体を触る時に同意をとることを取り入れていきたいと思いました。（可愛いからと、ついついほっぺやお尻、お腹を触ってしまったり…反省です。）

●難しい問題すぎて、ちょっと困惑しました。どう子供におしえていったらいいか、もう少し具体的にパターンや事例を提示してほしかったかなと思います。家庭で親から子供に教えることで、子どもから親への見方の変化や悪い方向への影響（親への信頼感の喪失や拒否反応）などがでるのかどうか少し心配になりました。そうなると学校など第三者や公共からの指導のほうがいいこともあるかもしれないですね。
人権について、「子どもだから」と親の思うように動いてくれないと自尊心を傷つけることを言っている自分に気づかされました。（中略）性教育をはなれて、基本的な子育てにたちかえってみていろいろと考えさせられました。性教育に行く前の段階であることに気づかされました（後略）。

●10数年前の性教育のスタンダードから変化していることを実感しました。より人権が尊重されたものになっていると思いました。日本はまだ意識の低い大人が多く、皆が常識のアップデートをしないといけないとさえ感じます。もっとポップに、フラットに、ごくごく普通のこととして、『包括的に』世に取り上げられて欲しいです。紹介いただいた本やウェブ、アマプラの映像コンテンツなど、みてみます。とても学びが多い講義でした。

●本日は講義を受けさせていただいて、性について一度も話したことがなかったなとハッとしました。本人はネット上の情報を鵜呑みにするところがあるので、フェイク情報も真に受けていることがあります。コミュニケーションをもっととっていかないといけないし、教えていかないといけないんですね。

■支援者の方の感想

●異性と距離が近すぎる方への指導で腕1本分とか2本分というのは言ってしまっていました。それが修正できないことで社会生活で苦労したり、その後の異性との関係に影響するかもしれないと知って反省しました。今後は気をつけようと思いました。

●分かりやすい貴重なお話をありがとうございました。包括的性教育というのは、想像していたことより、範囲が広いと思いました。人権感覚など、もしかしたら今の教育現場で一番大切なことなのかもしれないなと感じました。

●様々な性被害の根にあるものが人権感覚の欠如であるという視点に深く共感し、また、様々な具体的なアプローチのご紹介と並行しながら、人権感覚を共有するという共通したご紹介によって、少しずつ実践していきたい、または、支援に携わっていけるかもしれないという希望を感じました。

●保育士をしていますが、乳幼児期から性教育が始まっている事を知り勉強になりました。
おむつ替え、お着替えなど体を触る場面では声掛けしてるつもりでしたが、何故それが大事かがはっきり分かりました。

●性教育ということでとても興味を持って参加しましたが、ふれあいさいころゲームなど、いろいろな方法を使ってできるということで、新たな性教育の考え方を学ぶことができました。先生が紹介された本も読んでみたいと思います。

●性教育を受けず、異性との交流や交際を禁止される形で成長をしてきた知的・発達障碍者が成人になって異性に関心を持つようになるとトラブルに発展しやすく、保護者は異性との接触を禁止しようとします。成人になると教えてくれる場所はなく、保護者も教えられないケースに遭遇することがあります。障害の有無を問わず「性」は権利なのだ、そのための教育である、というご講義に、障害をもっている児者に対する性教育は被害に遭わない、加害をしないためととらえていたのではないか、という自分の視点に気づかされました。

7月～9月のら・るーと本人支援活動

個別活動

ボードゲームクラブ

ら・るーとユース

今後の予定

パルレ会員 は、パルレの会員の方限定です。
要申込 は、申込が必要です。
★ は、どなたでも参加できます。
申込先メール：moushikomi@npo-parler.com

【パルレ】 予定が変更になる場合があります。パルレMLでご確認を。

■パルレヨガ　パルレ会員　要申込

2026年1月17日(土)　荏原第5区民集会所　第4集会室・和室

14：00～15：30

◇講師：三澤 美奈氏（ヨガセラピスト）　※初回無料

◇参加費：各回 大人1名 1,000円または家族で2,000円

【よかりんく】 大井町事業所

■ボードゲームクラブ　**第1水曜日**

■Switchクラブ　**第2、第4水曜日**

利用希望の方はwebサイトをご参照ください　npo-parler.com

寄付のお願い

「よかりんく」は、発達特性のある青年の余暇支援活動です。東京都保健福祉財団の助成金で開始しましたが、現在は助成期間が終了しております。よかりんく継続のため、みなさまからの暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

寄付連絡フォーム
QR コード▲

【ら・るーと】

■**第4回啓発講演会**　★ 要申込

思春期の発達障害-改めて知っておきたい理解と支援-

2026年2月28日(土) 14:00～16:00

◇講師：本田 秀夫氏(信州大学医学部附属病院 子どもの心の発達支援教室 教授)

◇会場：きゅりあん 大会議室　◇資料代：500円

※申し込み開始：1月21日

ペアレント・トレーニング　★ 要申込

▼2期ファシリテーター　※品川区民・対象年齢有り

熊谷 恵美（NPO法人パルレ代表理事・臨床心理士・公認心理師）

中田 洋二郎氏（立正大学名誉教授）

2期 土曜講座 全6回　**10：00～12：00**

◇会場：オンライン会議室Zoom

◇資料代：1000円×6(初回一括)

2026年1月10日 / 1月24日 / 2月7日 / 2月21日 / 3月7日 / 3月21日

※申し込み受付は終了しました